

Horizon Air Hybrid-Mode のセットアップ チェックリスト

以下のタスクを実行して、Horizon Air Hybrid-Mode をインストールするためのネットワークと Virtual SAN Ready Node を準備します。チェックリストが完成したら、提案されるワークフローに従ってサービスを展開し、管理を開始します。必要な情報を収集するのに役立つワークシートが含まれています。ヘルプが必要な場合は、VMware カスタマ サービスの担当者に問い合わせてください。

VxRail で動作する Horizon Air Hybrid-Mode については、VCE、EMC、またはパートナーの担当者と協力して、現地調査によって VxRail Appliance のプレインストール サイト チェックリストを完成させます。

想定環境

- このチェックリストは、Horizon Air Hybrid-Mode で必須の最小構成、すなわち 4 台のサーバが搭載された Virtual SAN Ready Node クラスタを想定しています。より大きなクラスタ サイズの場合は、以下にリストされた数量を適切に増やす必要があります
- Horizon Air Hybrid-Mode コンポーネントの互換ソフトウェアのバージョンが使用されます

セットアップチェックリスト

物理要件 (最小構成である 4 台のサーバが搭載された Virtual SAN Ready Node クラスタを想定)						
<input type="checkbox"/>	サーバを収容するラックスペース (たとえば R730xd の場合はサーバごとに 2 RU のラックスペース)					
<input type="checkbox"/>	サーバごとに必要な電源接続 (たとえば R730xd の場合はサーバごとに 2 x 220V の電源接続)					
<input type="checkbox"/>	サーバごとに 2 x 10 GbE SFP+ スイッチポートおよびケーブル					
<input type="checkbox"/>	物理サーバごとに 1 x 1 GbE スイッチポートおよび帯域外管理のためのケーブル (オプション)					
Virtual SAN クラスタ構成の要件						
<input type="checkbox"/>	サーバ 1 に展開された専用の vCenter Server Appliance					
<input type="checkbox"/>	専用の Virtual SAN データストア (ハードウェアに含まれる)					
<input type="checkbox"/>	『Horizon Air Hybrid-Mode インストールガイド』の手順に従って、FQDN の「DNS 名」(IP アドレスではない)を介して、ESXi サーバが vCenter Server に登録されていることを確認します					
ネットワーク要件						
5 つの VLAN						
<input type="checkbox"/>	送信ネットワークのインターネット接続用の VLAN A および B					
<input type="checkbox"/>	VLAN C					
<input type="checkbox"/>	詳細については、以下を参照してください。 http://www.vmware.com/files/pdf/products/vsan/VMware-Virtual-SAN-Network-Design-Guide.pdf					
<input type="checkbox"/>	vMotion 用の VLAN E					
<input type="checkbox"/>	アップグレード用の VLAN F					
<input type="checkbox"/>	VLAN	タイプ	ネットワーク	プリフィックス	ルーター	用途
	A	経路指定済み	サイト固有	//27 分	サイト固有	管理、ESXi/vCenter Server/Horizon Air Node アプライアンス
	B	経路指定済み	サイト固有	*	サイト固有	デスクトップ、テナントアプライアンス
	C	プライベート	169.254.0.1	/24	なし	Horizon Air Node バックボーン
	D	プライベート	プライベート (1)	/24	なし	Virtual SAN
	E	プライベート	プライベート (2)	/24	なし	vMotion
	F	プライベート	プライベート	/24	なし	アップグレード
*このネットワークは、プロビジョニングするすべてのデスクトップの DHCP スコープ、およびインフラストラクチャ アプライアンスのための 3 つのアドレスを提供できる十分な大きさを備えている必要があります						

物理スイッチ ポートの構成	
<input type="checkbox"/>	上記のすべての VLAN を備えたトランク モードの物理スイッチ上の 10 GB ポート
<input type="checkbox"/>	物理スイッチの 10 GB ポートでは、LACP を有効にしてはなりません
<input type="checkbox"/>	アウトオブバンド NIC のための物理スイッチ上の 1GbE ポートでは、IPMI 機能に応じたアクセス モードが必要になる場合があります
IP アドレスの割り当て	
<input type="checkbox"/>	VLAN A : • サーバのアウトオブバンド IPMI インターフェイスのための 4 つアドレス。帯域外管理 (オプション) に使用される VLAN/IP の場合があります
<input type="checkbox"/>	• ESXi サーバ (ホスト) 用の 4 つのアドレス
<input type="checkbox"/>	• Horizon Air Link 用の 1 つのアドレス
<input type="checkbox"/>	• vCenter Server Appliance 用の 1 つのアドレス
<input type="checkbox"/>	• Horizon Air Hybrid-Mode 管理アプライアンス用の 10 個の連続するアドレス
<input type="checkbox"/>	VLAN B - すべてのデスクトップ IP アドレスと 3 つの管理アプライアンスに対応できる大きさである必要があります (/24 または /23 を推奨) : • 次の典型的な構成を備えた管理アプライアンス用の 3 個の連続するアドレス - テナント アプライアンス 01 - .2 - テナント アプライアンス 02 - .3 - テナント仮想 IP アドレス - .4
<input type="checkbox"/>	• すべてのデスクトップで IP アドレスを取得できる規模を備えた DHCP スコープ
<input type="checkbox"/>	VLAN C - リンク ローカル アドレスは、管理アプライアンスによって自動的に割り当てられます
<input type="checkbox"/>	VLAN D - Virtual SAN インターフェイスのための 4 個の IP アドレス
<input type="checkbox"/>	VLAN E - vMotion インターフェイスのための 4 個の IP アドレス
Active Directory (AD)	
<input type="checkbox"/>	• コンピュータ オブジェクトを作成するためにシステムによって使用できるアカウント (通常は新しいアカウント「ドメイン参加のユーザー アカウント」) を追加します。詳細については、 https://support.microsoft.com/en-us/kb/251335 の記事を参照してください。
<input type="checkbox"/>	Active Directory でのオブジェクトの読み取り権限を持つ Active Directory ドメインバインド アカウント (読み取りアクセス権限を持つ標準ユーザー) を追加します
<input type="checkbox"/>	以下の 2 種類の Active Directory グループが必要です • 管理者 - アプライアンスの管理者グループ。通常は Active Directory のセキュリティ グループにリンクされます • ユーザー - セキュリティ グループまたは Active Directory のグループ。そのユーザーは Horizon Air Hybrid-Mode でデスクトップにアクセスできます
外部の Windows ベースの SMB ファイル共有	
<input type="checkbox"/>	高可用性の Windows ベースの SMB ファイル共有。デスクトップのゴールデン イメージおよび AppStacks に対する十分な能力を備えています。 詳細については、以下を参照してください。 Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド • ドメインバインド アカウント ユーザーの読み取り権限 • 他のユーザーがイメージまたは AppStacks を追加および更新するためのオプションの読み取り/書き込み権限
サイト DNS	
<input type="checkbox"/>	再帰的 (リバース) クエリを実行することができる DNS サーバ (つまり、myvmware.com を解決しなければならない)
<input type="checkbox"/>	管理とデスクトップ ネットワークの両方から https://cloud.horizon.vmware.com にアクセスする Web プロキシ (必要な場合)
<input type="checkbox"/>	非プライベート システムで使用されるすべての固定 IP アドレスのための A および PTR レコードを備えた DNS サーバ : i. ESXi サーバ 1 管理 iii. ESXi サーバ 3 管理 v. Horizon Air Link ii. ESXi サーバ 2 管理 iv. ESXi サーバ 4 管理 vi. vCenter Server Appliance
<input type="checkbox"/>	すべてのデスクトップの OS ライセンスのための KMS サーバ
<input type="checkbox"/>	NTP サーバ - エンドポイント管理デバイスを含めて ESX ホスト NTP が正確にセットアップされることを保証します

ポートおよび内部ファイアウォール（内部ネットワーク間のファイアウォール上）

<input type="checkbox"/>	内部的に許可される LDAP ポート 389 または LDAPS ポート 636
<input type="checkbox"/>	DNS ポート 53
<input type="checkbox"/>	スイッチ上で構成された DHCP ポート 67/68 および DHCP Forwarder
<input type="checkbox"/>	デスクトップ プロトコル : <ul style="list-style-type: none"> • PCoIP デスクトップ アクセス（内部および外部）用の TCP/UDP 4172 • Blast Extreme アクセス（内部および外部）用の TCP/UDP 443/8443 • USB リダイレクト用の TCP 32111
<input type="checkbox"/>	Horizon Air Node Manager Appliance 1 & 2 用の送信ポート 443
<input type="checkbox"/>	Access Point 要件（オプション - 外部アクセス用）。詳細については、「 Access Point をデプロイして構成する 」を参照してください。外部アクセスのために追加ポートを有効にする必要がある場合があります

2. Horizon Air Hybrid-Mode の展開ワークフロー

上記のチェックリストが完成したら、提案されるワークフローに従ってサービスを展開し、管理を開始します。

- i. Virtual SAN Ready Node のインストールと構成（『[Horizon Air Hybrid-Mode インストールガイド](#)』）
- ii. Virtual SAN Ready Node とクラウドのペアリング（『[Horizon Air Hybrid-Mode インストールガイド](#)』）
- iii. ドメインの参加/バインドの実行（『[Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)』の「[Active Directory の登録](#)」）
- iv. （オプション）エンドユーザーが環境に対して信頼できる接続をするための SSL 証明書のアップロード（『[Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)』の「[証明書のアップロード](#)」）
- v. ゴールド/マスター デスクトップ イメージの作成（『[Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)』の「[デスクトップ イメージの作成](#)」）
 - 新しい Windows デスクトップ イメージをビルドし、VMware OS Optimization Tool を使用してデスクトップ イメージを最適化して、最良のユーザー エクスペリエンスとログイン時間が得られるようにすることを推奨します。（<https://www.vmware.com/files/pdf/VMware-View-OptimizationGuideWindows7-EN.pdf>）
- vi. アプリケーションをエンドユーザーに展開するために使用される VMDK または VHD 上のアプリケーションの集合である App Stack をキャプチャします。（『[Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)』に記載された、[App Capture ツールを使用した「AppCapture による展開のためのアプリケーション管理」](#)）
- vii. デスクトップ サービスおよび割り当ての作成（『[Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)』の「[デスクトップ 割り当て](#)」）
- viii. アプリケーション サービスおよび割り当ての作成（『[Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)』の「[アプリケーション 割り当て](#)」）
- ix. デスクトップとアプリケーションの起動

4. 参考

- [Virtual SAN Ready Node のドキュメント](#)
- [Horizon Air Hybrid-Mode インストール ガイド](#)
- [Horizon Air Hybrid-Mode 管理ガイド](#)
- [Access Point をデプロイして構成する](#)
- [App Volumes のトラブルシューティング](#)
- [Horizon Air Hybrid-Mode グローバル サポート](#)



Horizon Air Hybrid-Mode のセットアップワークシート

ネットワーク：（Horizon Air Node のための最小構成である 4 台のサーバが搭載された Virtual SAN Ready Node クラスタを想定しています。より大きなクラスタ サイズの場合は数量を増やします）ヘルプが必要な場合は、VMware カスタマ サービスの担当者にお問い合わせください。

VLAN	VLAN ID	ネットワーク IP アドレス範囲	サブネット	ゲートウェイ
管理		連続する 10 個の IP アドレス		
vMotion		4 個の IP アドレス		
vSAN		4 個の IP アドレス		
リンクローカル		169.254.0.1/24 169.254.0.1-169.254.0.254		NA
デスクトップ				

DNS と IP アドレス情報：

Hybrid Mode	Virtual SAN サーバのホスト名	
vSphere サーバ 1	例：vsphere-01	
IPMI ホスト 1		
vSphere サーバ 2	例：vsphere -02	
IPMI ホスト 2		
vSphere サーバ 3	例：vsphere -03	
IPMI ホスト 3		
vSphere サーバ 4	例：vsphere -04	
IPMI ホスト 4		
ノードの使用	仮想マシンのホスト名	IP アドレス
vCenter Server	例：hahmvc01	
Horizon Air Link		
管理仮想マシン	管理ネットワークの 10 個の連続する IP アドレス	
デスクトップ管理仮想マシン	デスクトップ ネットワーク（インターネットが必要）の最初の 3 個の連続する IP アドレス	

Active Directory 情報

	ホスト名	IP アドレス
プライマリ ドメイン コントローラ		
セカンダリ ドメイン コントローラ	オプション	
プライマリ DNS サーバ		
セカンダリ DNS サーバ	オプション	
DHCP サーバ		
KMS サーバ		
NTP サーバ		
	値	サンプル/メモ
Active Directory NETBIOS 名	Active Directory ドメインの名前	テナント
ドメインのサフィックス		tenant.com
Active Directory プロトコル	LDAP	LDAP または LDAPS
Active Directory プロトコル ポート	389	389 または 636
ドメイン バインドのサービス アカウント	標準のドメイン ユーザーの場合があります。	
Active Directory 参加アカウント	無制限のコンピュータ オブジェクトに参加できる標準ドメイン ユーザーである場合があります。	
Horizon Air Hybrid-Mode 管理グループ	プラットフォームを管理することができる人のグループ	
Horizon Air Hybrid-Mode ユーザーグループ	デスクトップへのアクセスを許可された Active Directory グループ	